

音響&映像メディアクリエイティブ学科(音響エンタメ研究) 授業科目概要(2026年度)

科目区分	番号	授業科目名	授業科目概要	担当者 (☆主担当)	実務経験	履修学年	コマ数	単位数	授業形態
一般科目	1	現代倫理	倫理学を基調として現代の青年たちに欠落している面を追及し、「全人教育」に向ける。「生きる」ことの意味を考察させることから、さらに「働く」ことの意味を考えさせる。	齋藤照安	—	1	32	4	講義
	2	ビジネス文書技法	あらゆるビジネスシーンに必要なパソコンアプリケーションのワープロ・表計算についての活用技法を学ぶ。また、就職活動におけるメールの作法も身につける。	原木伴美	—	1	32	4	講義
	3	一般教養	就職活動をする際に最低限必要となる文章理解と数的処理の知能を身につける。	中村健太郎 原木伴美	—	1	16	2	講義
	4	企業研究1	採用側は、自社に貢献する人材を求め、産業経済・社会の変化が急激な現代では、「環境適応力」に優れた人材の価値が高まっているなか、「キャリア自律」について理解をする。	橋野幸男	—	1	16	2	講義
	5	企業研究2	「就職」というゴールに加え、学生が「キャリア自律」について理解することを目標に、「『自己理解』+『企業・社会研究』⇒『自己強化』⇒『自己表現』というプロセスを螺旋状に回し、「(相手先の仕事ができる)」、「(相手先に合っている)自分を的確にアピールする力を身につける。	橋野幸男	—	2	16	2	講義
	6	英語1	IT・エンタメ業界に必要な英語の基礎を学び、専門用語を中心に、実務で必要な用語を英語と日本語で理解する。また、海外出張や外国人と協働する場合に必要な英語を習得する。	有賀浩	—	2	16	2	講義
	7	英語2	IT・エンタメ業界で業務上必要となる、より専門的な英単語やフレーズを理解し、英文サイトや英文マニュアルの読解に必要なスキルを養成する。	有賀浩	—	2	16	2	講義
	8	職業とキャリア	職業の選択は人生の中で重要であり、職業の選択に際して知っておかなければならないことが多々ある。当授業では、働く意義、職業選択の考えから学び、「仕事と職業」「社会人・職業人のモラル」「社会の動向」の3つの大項目を経て、職業人としての心構えを身につける。	伊藤知圭子	—	2	16	2	講義
専門科目	9	検定対策	企業人にとって必要な、ビジネスの基礎知識とスキル(特に入社1年目までに必要とされる)や、社会人常識を総合的に身に付ける。最終目標として、「ビジネス能力検定3級」、「社会人常識マナー検定3級」の検定取得を目標とし学習する。	原木伴美	—	1	32	4	講義
	10	デジタルデザイン基礎	Photoshop、Illustrator、の操作・デザイン技術を学ぶ。コンテンツの作成や編集の仕方、現場で使われている技術も織り交ぜながら基礎的な技術の習得を目指す。	佐伯尚久	IT企業、プログラミングスクール教師としての実務経験、WEBデザイナー兼デザイナー	1	32	3	講義 実習
	11	デジタルデザイン応用	Photoshop、Illustrator、の操作・デザイン技術を課題を中心に学ぶ。課題はポスター、パンナーデザイン、ロゴ作成等学生のレベルに合わせて出題	佐伯尚久	IT企業、プログラミングスクール教師としての実務経験、WEBデザイナー兼デザイナー	1	32	3	講義 実習
	12	AI&IoTデジタルテクノロジー	パソコンやスマートフォンといった電子機器の基礎知識の理解や人工知能(AI)、IoTについて学習し、映像・音響系で重要とされている流行の理解をすることで、好きなものだけでなくニーズに合わせた作品づくりができるような幅広い考え方を育てるようにする。	五味正太郎	—	2	32	4	講義
	13	総合演出技術	コンサートやイベントにおける舞台演出や技術を幅広く知り、舞台芸術への興味を引き出していく。舞台関連業界への就職に有利な人材を育成、就職後の業務が楽しくなるような知識を身につける。	磯田弘 五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	32	3	講義 実習
	14	卒業研究	2年間の集大成として、今まで培ってきた知識・技術のさらなるレベルアップを図る。グループ研究を行うことにより、実社会での人間同士のコミュニケーションの重要性を身につける。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	96	8	講義 実習
	15	レコーディング基礎	各パートのレコーディング技法の基本的知識を学び取得する。さらに、セッティング、レコーディングを実際に行えるようにする。	坂本弘樹	総合音楽スタジオでレコーディングエンジニア、PA・音響オペレーターの実務経験	1	32	3	講義 実習
	16	レコーディング応用	レコーディングで重要なことの1つに、楽曲を正しく理解するためにスコアのアナリーゼができることがあがる。スコアが読め、楽曲分析をおこない、それをレコーディングに活かすことのできる能力を身につける。	坂本弘樹	総合音楽スタジオでレコーディングエンジニア、PA・音響オペレーターの実務経験	1	32	3	講義 実習

17	PA基礎	音楽イベントなどの様々な催事を彩り、支えるPA=音響・照明エンジニアに必要な技術を1からマスターすることを目指す。ミキシングコンソールやパワーアンプ、エフェクター、スピーカー、マイクロフォンなどPAで扱う全ての機材や音の基本を知る。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	1	32	3	講義 実習
18	PA応用	基礎で身につけた知識に加え、実際にミキサーや周辺機器を用いて実習を行っていく。前期で学んだ知識を深めていき、実際の機器の操作技術を身につける。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	1	32	3	講義 実習
19	音楽理論	中学校や高校で学んだ楽典の知識の復習から始め、スケール、コード、コード進行などの音楽の知識を学ぶ。最終的には作曲(DTM)でこの授業の知識を実践的な作曲技術へとつなげることを目標とする。	杉山有美	-	1	32	4	講義
20	音響工学基礎	「音」や「電気」、「機器」などの音響という仕事に関わるものを学ぶ。環境や状況によって音が如何に変化するかを学ぶことで、仕事につながる知識を学ぶ。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	1	32	4	講義
21	DTM基礎	パソコンを用いた楽曲制作や編集について学ぶ。実習を行うことで、DTMの基礎を身につける。	深澤正悟	アーティストとして、音楽プロデューサー、ディレクター、作曲提供などの実務経験	1	32	3	講義 実習
22	DTM応用	コピー楽曲の打込みや、オリジナル楽曲の制作を経て、サウンドクリエイターとして必要な知識、技術を身につける。	深澤正悟	アーティストとして、音楽プロデューサー、ディレクター、作曲提供などの実務経験	1	32	3	講義 実習
23	サウンド制作実践1	作曲、編曲といった楽曲制作技術とレコーディング技術、編集技術を融合させ、様々な作品作りに取り組む。この制作を通して、技術、知識をより実践的なものへと昇華させることを目指す。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	32	3	講義 実習
24	サウンド制作実践2	サウンド制作実践1を踏まえ、作曲、編曲といった楽曲制作技術とレコーディング技術、編集技術を融合させ、より質の高い作品作りに取り組む。この制作を通して、技術、知識をより実践的なものへと昇華させることを目指す。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	32	2	実習
25	レコーディング実践1	1年次に学んだレコーディングの知識、実技を応用し、実際に環境の違いや機材の違いによって、どれだけ録音した音に違いが出るのかを実践していく。また、ミックス、マスタリングの技術向上を目指し、ワンランク上の編集技術、エフェクトの使用方法についても実際に編集をしながら学んでいく。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	32	3	講義 実習
26	レコーディング実践2	前期に学んだレコーディングの知識、実技を応用し、実際に環境の違いや機材の違いによって、どれだけ録音した音に違いが出るのかを踏まえ、実際にレコーディングを行っていく。また、ミックス、マスタリングの向上した技術を活かし、ランクの高い作品の制作を行い、評価する。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	32	2	実習
27	PA実践1	1年次に習得したPAの知識や技術を実践的なものへ向上させることを目的とする。日々、環境が変化するPAの仕事として使われている知識や技術を環境の変化に合わせて、学んでいく。会場の大きさ、建物の構造から音の伝播の違いを見極め、効率よく、良い音を観客に届ける術を学び、就職後の即戦力となる力を身につける。	上林宏至	音響、イベント会社で照明オペレーターとしての実務経験	2	32	3	講義 実習
28	PA実践2	PA実践1で習得したPAの実践的な知識や技術を用いることができることを目標とする。日々、環境が変化するPAの仕事として使われている知識や技術を環境の変化に合わせて、学んでいく。会場の大きさ、建物の構造から音の伝播の違いを見極め、効率よく、良い音を観客に届ける術を学び、就職後の即戦力となる力を身につける。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	32	2	実習
29	音響工学応用	1年次に学んだ音の現象や機械の内部構造に加えて、今年度は聴覚現象による、音の聴こえ方の違いや、デシベルの概念についてなど、より詳細な内容を学んでいく。目に見ることができない音をより具体的に把握できることを目指し、実践において活かせる知識を身につけていく。	五味正太郎	音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	32	4	講義

関連科目	30	プロゼミ	学生自身が考え、ラジオ番組を作ったり、ライブを運営したりなどを行う。原則、グループで動き、チームで動くことに必要な知識・技術も身につける。最終的にはグループごと学内発表の場においてプレゼンをする。	☆五味正太郎 京谷規秀 落合布暁	テレビ番組・CM等映像の企画制作会社でのCMディレクターとしての実務経験・音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	1	64	4	実習
	31	ゼミナール	学生自身が考え、ラジオ番組を作ったり、ライブを運営したりなどを行う。原則、グループで動き、チームで動くことに必要な知識・技術も身につける。最終的にはグループごと学内発表の場においてプレゼンをする。また、企業の方の外部評価を受け、ブラッシュアップを行う。	☆五味正太郎 京谷規秀 落合布暁	テレビ番組・CM等映像の企画制作会社でのCMディレクターとしての実務経験・音響、イベント会社でPA・音響オペレーターとしての実務経験	2	64	4	実習

合計	1,024	98
----	-------	----

実務経験者合計 768 66 67%